

# 阿蘇カルデラ断層、過去1万3千年間に地震6回の可能性

小林舞子 2018年5月22日21時04分

シェア 86

ツイート list

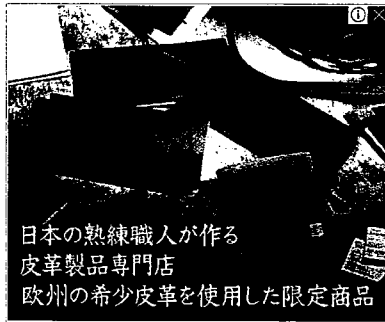
ブックマーク 0

メール

印刷



阿蘇大橋の崩落現場(奥)。この右手のカルデラ内部に活断層が延びている=2016年6月、熊本県南阿蘇村、朝日新聞社へりから、上田幸一撮影



日本の熟練職人が作る 皮革製品専門店 欧州の希少皮革を使用した限定商品

[PR]

熊本地震の発生後、阿蘇山のカルデラ内部で見つかった断層について、産業技術総合研究所などのチームは22日、過去約1万3千年間に6回の地震を起こした可能性があるとする研究成果を発表した。

この断層は、熊本地震によって地表に現れ、地震を引き起こした西側の布田川(ふたがわ)断層帯の延長上で確認されていた。

チームは、熊本県南阿蘇村河陽(かわよう)の水田に東西方向に出現した正断層に直交するように、深さ4メートルまで掘ってトレンチ調査を実施。過去の断層活動によるものとみられる地層の変形が複数見つかった。放射性炭素を使った年代測定で、過去1万3千年間に熊本地震を含め計6回の地震があり、直近では約1800~1300年前だったことがわかった。

熊本地震で動いた布田川断層帯の区間の活動間隔について、政府の地震調査研究推進本部は「8100~2万6千年」としていたが、京都大が地震後に同県益城町で調べたところ、過去7千年に3回活動していたことがわかった。

産総研の白浜吉起研究員(変動地形学)は「(京大の結果と)整合性がある。カルデラ内でも布田川断層帯と同様に高頻度な活動があったのは間違いない」と話した。

調査は、2018年度までの3年間で実施する文部科学省の事業の一環。結果を踏まえ、国は活断層の活動度などを再評価する。(小林舞子)

## 関連ニュース

熊本地震

熊本地震の活断層帯、想定より短周期で大地震? 産総研

熊本)熊本城 石垣の復旧現場を公開

熊本)日奈久断層帯、調査現場を公開 地層のずれ確認

熊本)「ちょうどいい田舎」を 住民らが歩いて考え提案

## こんな特集も

知ればきっと始めたくなる「長期投資」とは (PR)

東京カレンダー監修ビアテラスが期間限定で誕生! (PR)

日本最高位は17位「傳」、世界のベストレストラン50 (アエラストイルマガジン)

PR情報

支援情報 更新しています

西日本豪雨

西日本豪雨から1カ月。被災地支援 支援通信に役立つ情報を随時更新中。

紙面にプラス

デジタル限定

疲労感を軽減し、頭の冴えをサポート



PR 注目情報



Amazon Echoで甲子園遠報! 最新情報をスマートスピーカーで聴こう 簡単設定方法はこちら!



勝者はたった一人だけ! 優勝すれば願いをかなえてくれる 謎の大会に小学生たちが挑む!



年収2000万円特集! 普段あまりみない求人多数掲載中 ハイクラス転職サイト/ビズリーチ

電気通信大学、長野県立大学ほか

13大学を徹底取材! 国公立大学特集

医者が語る「同窓会」で脳トレ!?

昔の記憶が刺激、若返り効果も

プロ選手に学ぶ、痛みを防ぐ体づくり

人生100年時代の“筋活”

日本の食料自給率はわずか0%?

人気の林修先生がわかりやすく解説。

## アクセスランキング

もっと見る

読まれています

昨日のトップ5

松井秀喜さん「甲子園の魔物に襲われた」始球式ワンバン

鎌倉の海岸にクジラ打ち上げ 海水浴客の近くで

大塚家具身売り交渉は無念 父「あの時、電話くれれば」

甲子園、レジェンドが連日始球式 開幕には松井秀喜さん

被災した園に「レゴ」ボックス 収納棚の代わりに提供

## ソーシャルランキング

もっと見る

フェイスブック

はてなブックマーク